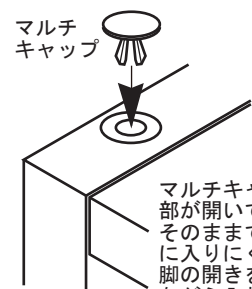
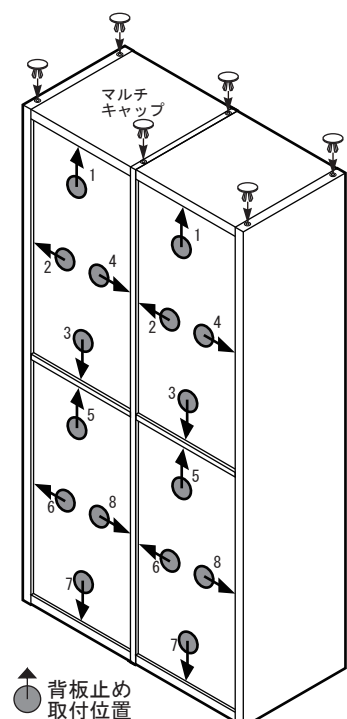


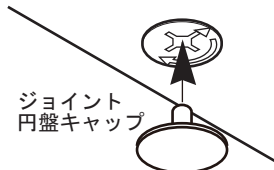
ストレージGR 増設4段 組立説明書

7 本体を立ち上げて、背板に、背板止めを取り付けます。幅方向、高さ方向のそれぞれ半分ぐらいの位置に取り付けます。

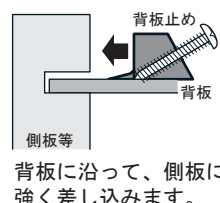
8 ジョイント円盤の締め付けを確認しながら、円盤キャップを取り付けます。また、側板天面に、マルチキャップを差し込みます。



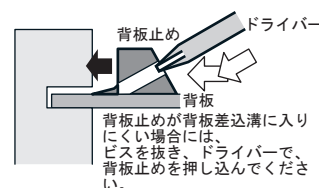
マルチキャップは、脚部が開いているので、そのままではナット穴に入りにくいです。脚の開きを押しえつながら入れるようにしてください。



ジョイント円盤キャップは、天板と、中間棚板の下面のジョイント円盤に差し込みます。(計8カ所) 底板の下面のジョイント円盤には使用しません。



背板に沿って、側板に強く差し込みます。



背板止めが背板差込溝に入りにくい場合には、ビスを抜き、ドライバーで、背板止めを押し込んでください。

組立の前に必ずお読みください。不適切な組立は事故につながる恐れがあります。必ず二人以上で組立てください。

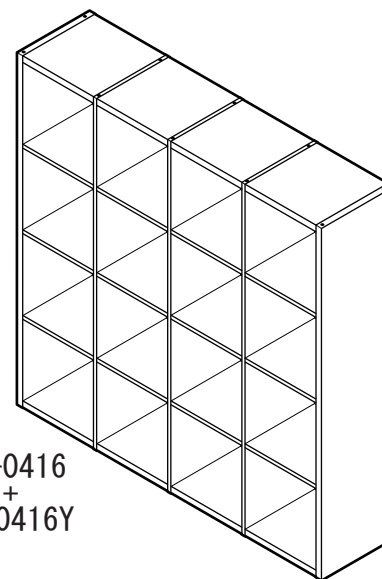


- 工具類の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組立の際はお子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立の際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください

注意

- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実ににはめ込んでください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に止め、組み立ててください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。

GR-0416
+
GR-0416Y



部材

最初に必要な部品が揃っているか確認してください。似ている部品でも左右、上下で異なる場合がありますのでご注意ください。

床のキズ防止、白本体の汚れ防止のため、敷物を敷いて作業してください。

使用工具 +ドライバー

GR-0416 417-301~309

no. 3(太)、no. 2(中)の両方をご用意ください

ストレージGR 4段増設 (以下の2個口になります)



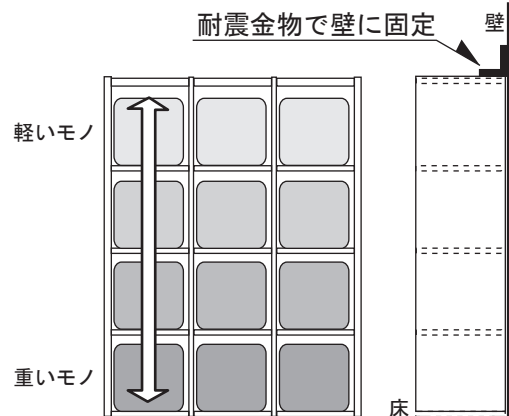
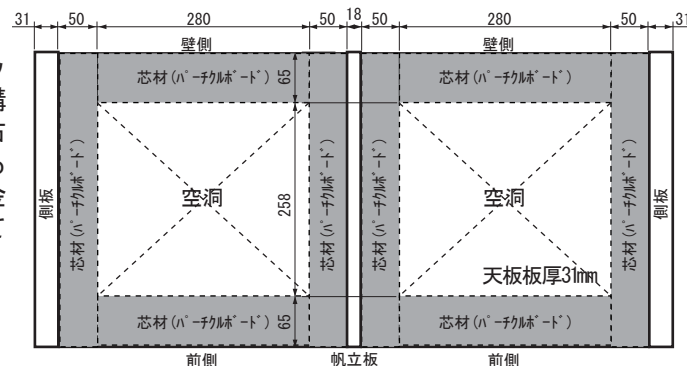
※設置、使用に際して、ご注意いただきたいこと。

必ず、壁面に沿わずよう設置してください。壁面のない中間置きはしないでください。

警告

- 家具が倒れてけがをすることを防ぐために、建物の壁面、天井、床等に固定する等の、倒れ防止に留意してください。
- 家具が倒れてけがをすることを防ぐために、上段だけに、収納しないでください。下段より、重い収納物をいれてください。

天板は、フラッシュ(枠枠組)構造ですので、右図の芯材のある場所に、耐震金物を取り付けてください。



重いモノを下の方へ、軽いモノは上の方へ収納してください。上段だけに収納しないでください。

品質表示

- 外形寸法 GR-0416Y
幅398mm×奥行390mm×高さ1,647mm
- 材質 木質繊維板(MDF,パネルボード)
- 表面材 化粧紙貼り(背板片面:メラミン)
- 取り扱い上の注意
直射日光又は熱を避けてください。据え付けに際し、湿気の多いところを避け、アジャスターの調整で書庫を水平に設置してください。
- 表示者 プラス株式会社ガラージ事業部
東京都千代田区三番町6-14

GR-0416Y-A 414-505 (白)

部品

※ジョイント円盤には、高さの違う2種類があります。

ジョイント円盤(大) 8ヶ(φ15×H19.5)
ジョイント円盤(小) 4ヶ(φ15×H12.5)
ジョイントピン 12本(φ15×19.5)
ジョイント円盤キャップ 8ヶ
背板止め 8ヶ(小ネジ8本付き)

帆立板 1枚 (390×1637mm t=18) アジャスター取付済

天板 1枚 (380×388mm t=31)

底板 1枚 (380×388mm t=31)

中間棚板 1枚 (380×388mm t=18)

棚板 2枚 (380×373.5mm t=18) 木ダボ4本取付済み

マルチキャップ 2ヶ

本説明書 1葉

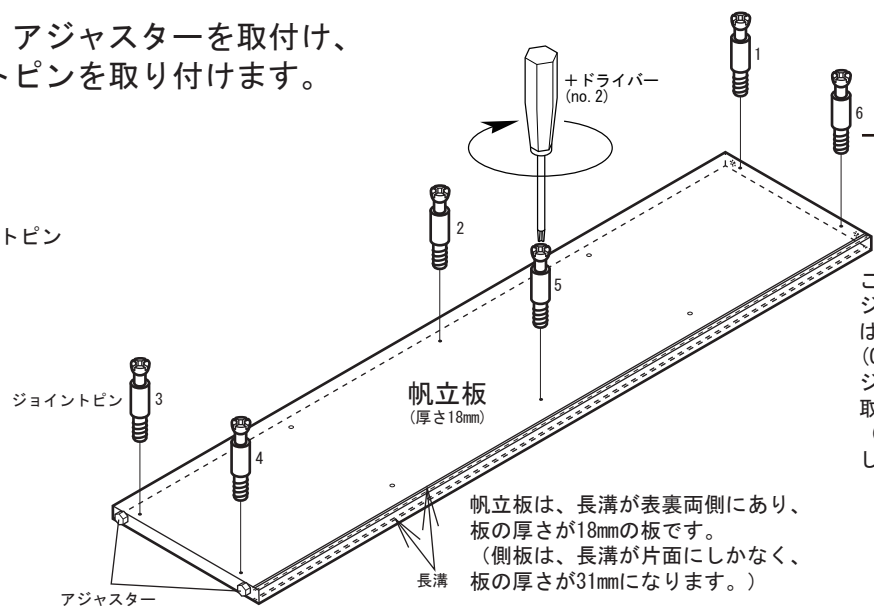
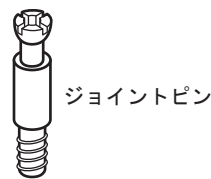
ご使用上の注意は、基本4段(GR-0416)の取扱説明書をご覧ください。

お問い合わせ先
製品に関するご質問は、ご購入店、または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。
ガラージお客様センター

Tel. 0120-331-753 9:00~18:00 (日曜、祝日、年末年始を除く)

- GR-042-B
- 414-498 (ウォーターブルー)
 - 414-499 (キャンディーブルー)
 - 414-500 (ピーチピンク)
 - 414-514 (トマトレッド)
 - 414-515 (レモンイエロー)
 - 414-516 (マンダリンオレンジ)
 - 414-517 (マスカットグリーン)
 - 414-518 (パセリグリーン)
 - 414-519 (ライスホワイト) -表面には目印ラベルが貼ってあります。
- 背板 2枚 (390×787mm t=3.5)
表面: 彩色、裏面: 白

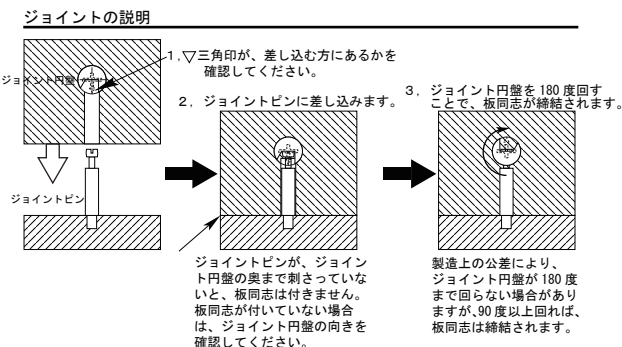
① 帆立板に、アジャスターを取付け、ジョイントピンを取り付けます。



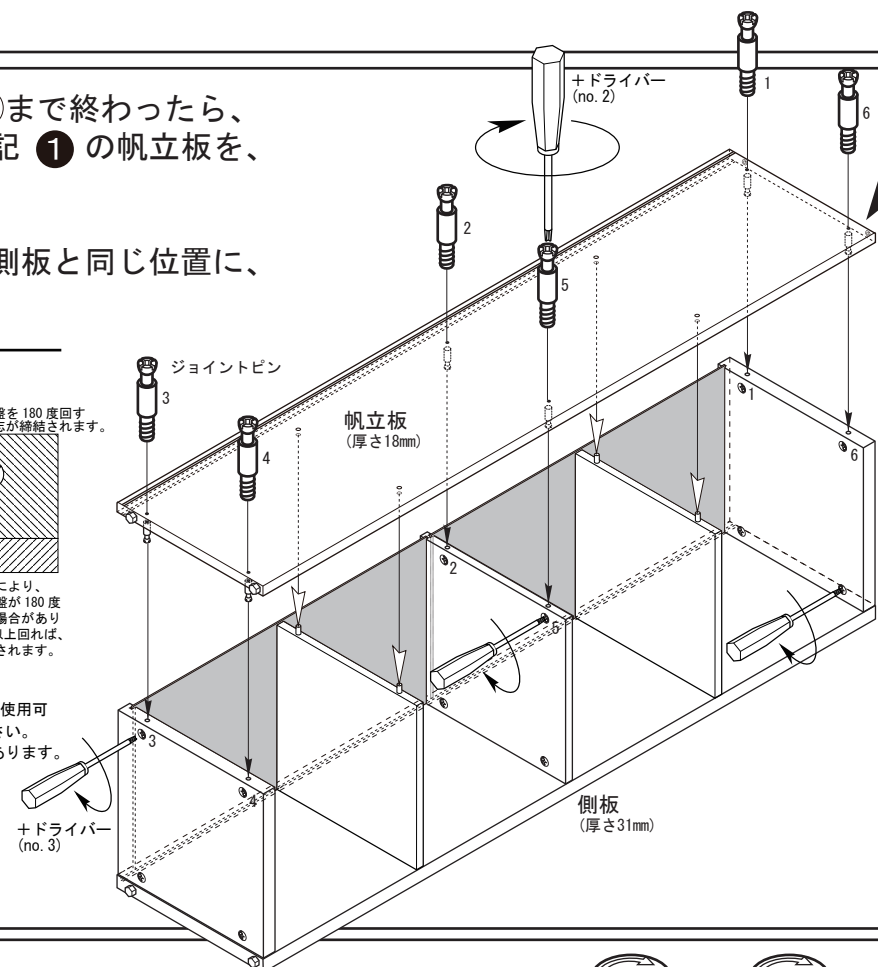
ご注意ください。
ジョイントピンを取り付ける側は、先に組み立てている基本 (GR-0416) のあいている側に、ジョイントピンがささる向きに取り付けてください。
(背板が入る長溝の向きに注意してください。)

帆立板は、長溝が表裏両側にあり、板の厚さが18mmの板です。
(側板は、長溝が片面にしかなく、板の厚さが31mmになります。)

② 基本 (GR-0416) の組み立ての、④まで終わったら、次に、基本の側板ではなく、上記 ① の帆立板を、本体に組み付けます。その後、帆立板に、ジョイントピンを、側板と同じ位置に、取り付けます。

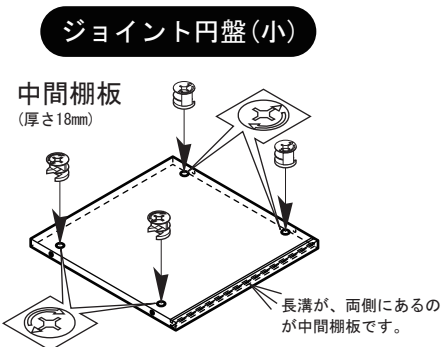
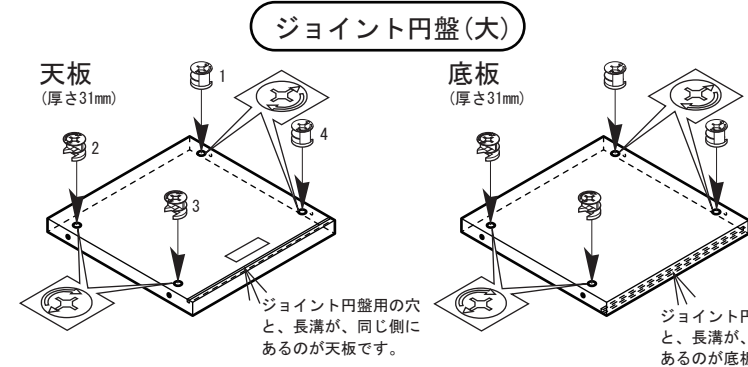


※ジョイント円盤は、六角レンチ、+ドライバー (no. 3) のどちらでも使用可能です。+ドライバーをご使用の場合、no. 3 (太) を使用してください。no. 2 以下のドライバーでは、ネジ頭 (十字穴) をなめる可能性があります。

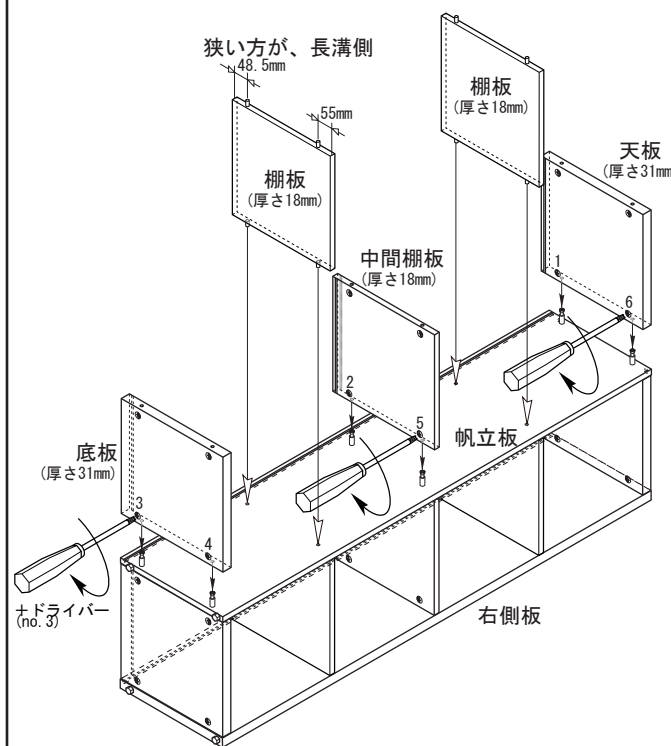


③ 天板、底板に、ジョイント円盤 (大) を中間棚板に、ジョイント円盤 (小) を差し込みます。

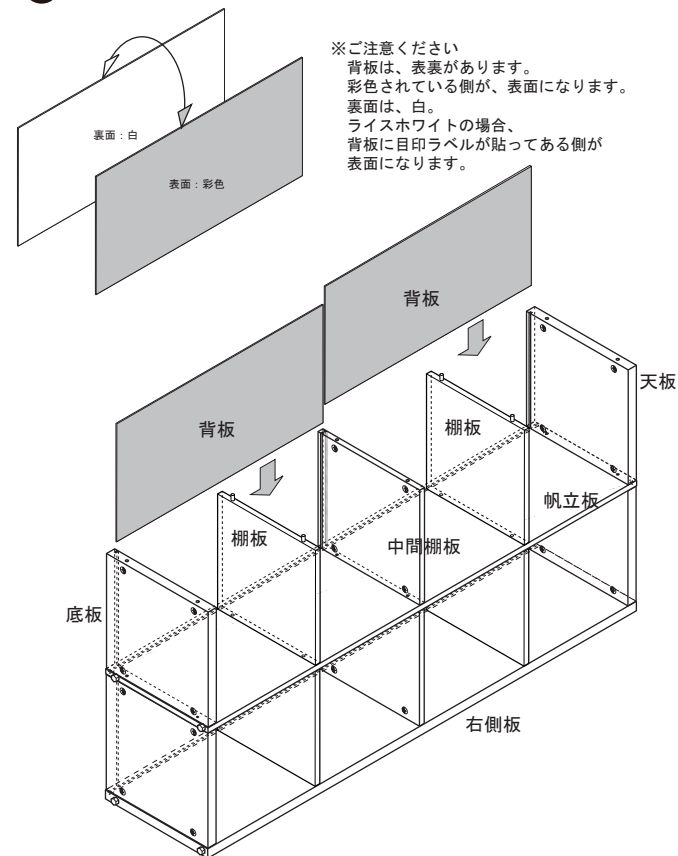
※ご注意ください。ジョイント円盤については、差し込む向きがありますので、図を参考にして、△印が外側にあるように差し込んでください。



④ 側板に、天板、底板、中間棚板を差し込み、ジョイント円盤で、固定します。そして、棚板を差し込みます。



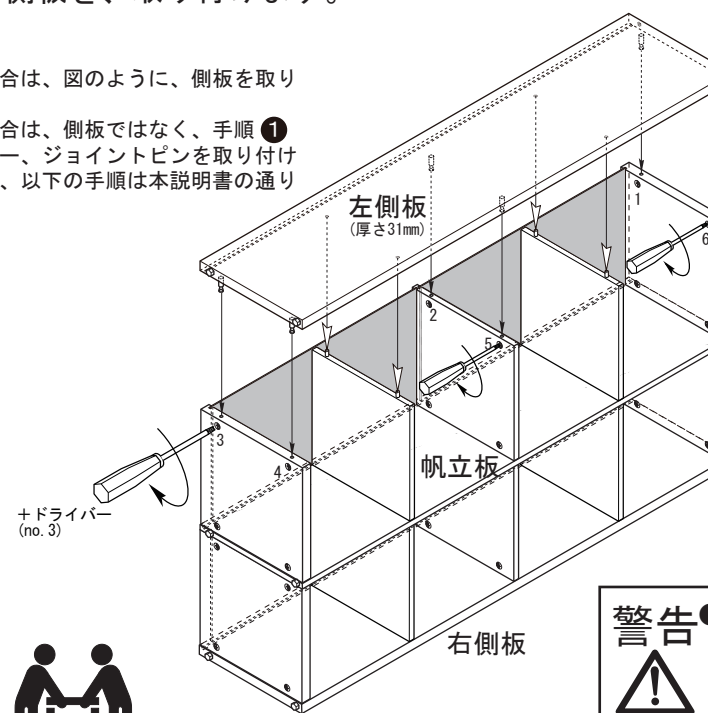
⑤ 背板を、長溝に差し込みます。



※ご注意ください
背板は、表裏があります。彩色されている側が、表面になります。裏面は、白。ライスホワイトの場合、背板に目印ラベルが貼ってある側が表面になります。

⑥ もう片方の側板を、取り付けます。

2列までの増設の場合は、図のように、側板を取り付けます。
3列以上の増設の場合は、側板ではなく、手順 ① に戻り、アジャスター、ジョイントピンを取り付けた帆立板を取り付け、以下の手順は本説明書の通りに行ってください。



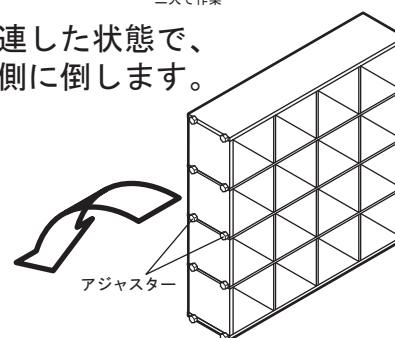
※ご注意ください
横への増設は4列まで

設計上は横方向にいくらかでも増設できますが、実際には収納庫を倒した状態で連結し、人の力で起き上がらせる必要があります。5列以上になると起き上がらせることが難しくなってしまうこと、設置場所への移動時に破損のおそれがあるため、4列までを推奨しております。

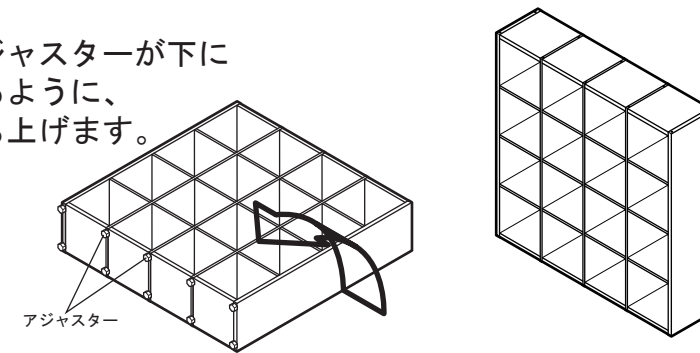
立ち上げ方



1, 増連した状態で、背側に倒します。



2, アジャスターが下になるように、立ち上げます。



警告 ●必ず二人以上で、立ち上げ、移設は行ってください。家具が倒れてけがをすることがあります。

